

平成 26 年度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園
2	指定管理者 名称	環境整備株式会社 代表取締役 増田 武見
	住所	栃木県宇都宮市岩曾町1333
3	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成26年度のドーム利用者については、49,898人で前年度より1,289人の減となった。利用者の内訳は町内が26,155人(52.4%)、町外が23,743人(47.6%)であり若干町内利用者が多い状況である。集客の取り組みとして、夏休みイベント、90万人達成イベント等を前倒しで実施したが、目標である5万人をわずかに達成することが出来なかった。要因としては最盛期の7、8、9月の天候不順によるものと思われるが、5万人達成に向け、今後の取り組みを検討する必要がある。</p> <p>運営面では、県トライアスロン協会の主催によるキッズトライアスロン教室に対し協力的にかかわるなど新たな取り組みも行った。また、子どもから大人までを対象とした水泳教室や長期休業中を利用した短期子供水泳教室を引き続き実施し利用者の拡大を図っている。余笹川ふれあい公園については除染工事が完了しグランドゴルフや九尾まつりが再開されたことにより前年比で大幅な利用者の増となっている。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>27年2月にアンケートを実施し、改善要望等についてすぐに対応できるものについては、早急かつ適切に対応している。施設の水質や利用料の改善要望もあるので、町として改善すべきものは検討し対応したい。なお、余笹川ふれあい公園利用について、土日は、だれもが自由に公園を利用できるように、団体で行うグランドゴルフ等の利用は原則禁止にしてほしいとの要望があり、関係団体と協議し土日のグランドゴルフ利用は行わないこととした。その他の管理運営や設備関係で、アンケート以外で改善要望が数件あったが月の社員研修を強化するなどして改善を図っている。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成26年度の収支については、収入総額は73,956千円（内委託料45,036千円 売上金27,510千円燃料費補填1,410千円）に対し、支出総額は76,397千円で、2,440千円の損失となっている。主な要因として、灯油単価の高騰によるものと、入場者減による入場料収入の減収によるものである。燃料費（灯油）の高騰については協議により町から1,410千円の補填を行った。今後、入場者の増加の工夫を行い入場料収入をあげることが望まれる。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>平成26年度は那須スイミングドームの累計入場者数が90万人となり、90万人達成イベントを企画実施、また九尾まつりや子どもフェスティバルなど町の事業にも積極的に協力がなされている。課題等については以前同様、町と月次定例会を実施しており、事業報告はもとより問題点や利用者からの要望・改善事項等について話し合いを行い、速やかに対処するよう務めている。施設管理の面では、施設の老朽化に伴う修繕等を町との協定に基づき積極的に実施しているが、平成8年開設以来20年が経過し年々修繕が増加しているため、大規模な改修を今後検討する必要がある。</p>
10	評価ランク	C
	A：非常に良好な施設の運営状況であった	D：やや課題のある施設の運営状況であった
	B：良好な施設の運営状況であった	E：課題のある施設の運営状況であった
	C：普通の施設の運営状況であった	

平成 26 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町立図書館
2	指定管理者 名称	株式会社図書館流通センター 代表取締役 渡辺 太郎
	住所	東京都文京区大塚三丁目4番7号
3	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
4	施設所管課	那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況(町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等)	・協定書、仕様書等によって、業務は概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の開館日数は306日(前年比10日増)、入館者数は62,976人(前年比1,037人増)、貸出者数は18,395人(前年比90人増)である。増加の理由としては、前年度あった耐震工事等の休館がなくなり、従来の開館日数が確保できたことによる。しかし、1日当たりの平均にすると、前年度に比べ、入館者数は209.3人から205.8人、貸出人数は61.8人から60.1人、貸出冊数は387.1冊から373.9冊と減っている。 ・「読書感想文を楽しもう」や「本の福袋」「羊毛フェルトでストラップを作ろう」等、新規事業を開催し、どの事業も好評を得た。
7	町民(利用者)からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化が進んでいる状況から、今後、高齢者向けの資料購入や自主事業を増やすことを検討している。 ・湯本、芦野、伊王野地区など、図書館から遠隔地の利用者が減っている。現在実施している移動図書館以外に遠隔地での貸出しサービスを検討する必要がある。 ・アンケートでは、スタッフの貢献度、受け答え等の満足度が前年度より増えている。また、館内の清潔度や設備についても前年度より高い評価を得ている。 ・「図書の充実」を求める声が昨年よりも増えている。ニーズに合った購入に努めたい。
8	指定管理者の経理状況の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・収入及び支出については、適正に処理されている。 ・図書購入費は、仕様書に明記されているとおり年間500万円が支出されている。
9	総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など)	<ul style="list-style-type: none"> ・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っており、良好な関係にある。
10	評価ランク	B
	A: 非常に良好な施設の運営状況であった	D: やや課題のある施設の運営状況であった
	B: 良好な施設の運営状況であった	E: 課題のある施設の運営状況であった
	C: 普通の施設の運営状況であった	